

令和7年度 学校関係者評価及び改善策

(中間・**最終**)

宮原中学校区 校番 12 学校名 宮原小学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標, 指標の設定の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> ・目標, 指標は適切であると思う。 ・学校教育目標や理念を基に, 中期・短期での目標を設定し, 育ちを確実にしていくために見通しある具体的な指標を掲げておられることにより, より明確な手立てや計画につながっていると感じた。 ・国語, 算数の平均点は80点を目標に頑張ってもらいたい。
目標達成のための方策の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> ・方策は概ね適切である。・トイレのスリッパの枠の設置はよいアイデアだった。 ・子供の問いを活かした「考える授業づくり」への授業改善を推進していくために, 実践研究を行い, 現状を客観的に分析し, 全職員の共通理解と協働の中で目標達成に向けて方策を具体的に示しておられることで, 見取りの視点が明確になっている。 ・自己指導力の育成, 基本的生活習慣の定着, 体力向上の方策が, 児童の目標達成に向けた意識の向上を図るものとなっている。
自己評価の結果と分析の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> ・結果と分析は適切である。 ・客観的な数値として示され評価できるものもあるが, 心情面など見えにくいことに対しての評価は, 縦割りや交流授業を通し, 一人一人の児童に対し, 全職員で関わっておられることで, 多面的な理解がはかられ, 自己評価や分析が適切になっていると感じる。
今後の改善策(案)の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価の結果を踏まえ, 引き続き継続していくことと, 改善に向けて力を注いでいくことの両面が丁寧に記されており, 今後に向けた指導の在り方が全職員で共有できるものになっていると感じた。
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・学校と保護者, 地域が関わる機会が増えることにより, 互いに理解が進み, 信頼関係が築かれる。またそのネットワークが広がっていく中で, 子供達の安心と安全につながり, 活動の場が広がることで, 子供達の育ちが豊かになっていくと感じる。 ・宮小のコミュニティスクールの取組はとても機能していると思う。次年度に向け, 今年度の取組を踏まえた思いの立った継続をお願いします。これからも素晴らしいコミュニティを築き上げていってください。 ・校長先生より, サークルトークやICT機器の活用が一辺倒ではなくバランスの取れた実践をされていることを伺い安心した。個々の児童への手立てもよろしくをお願いします。

※ 評価は, A(とても適切), B(概ね適切), C(あまり適切でない), D(まったく適切でない), N(分からない)

学校関係者評価を受けての今後の改善策	<p>児童の体力や学力の向上については, 本年度の改善策を次年度にも生かし, 実態に合わせ, 取組を継続する。また, 基本的生活習慣の定着を家庭とも連携していく。</p> <p>本年度よりコミュニティスクールとなり, 学校運営協議会の場で, 地域の方々の参画を得ることができた。本年度作成したCSシートを基に, 次年度は更に1年間の見通しを持ったうえで地域との連携を進めていきたい。学校の業務は多岐にわたり, 児童の実態も多様であるが教職員がチームとなり, ベクトルを揃えることで, 取組を確実に進めていくことができる。教職員各々がより良い学校づくりに参画している意識を高め, 「自ら学び 共にのびる」宮原小の児童の育成に努めたい。</p>
--------------------	--